

志賀高原の発展 ①スキー場開発とスキー大会誘致の歴史

昭和3年、志賀高原の麓沓野出身の早大生竹節作太氏が、サンモリッツで開催された第2回冬季オリンピックに日本人第1号の選手として出場されました。

昭和4年2月6日には、前日志賀高原の麓の上林に宿泊したノルウェーのヘルセット一行が、坊平、沓打を経て旭山に登り、雄大な志賀の山々を見て「東洋のサンモリッツ」と賞されました。そして、昭和5年、各々の山名や地名で呼ばれていた所を総称して「志賀高原」と命名されました。

以来、志賀高原はツアースキー(山スキー)における、赤倉、草津、野沢、苗場の上信越スキーエリアの中心として発展し、その名も全国的に知られるところとなりました。特に昭和8年より繰り広げられた国際スキー場指定の争奪戦は激しく、その余波はオリンピックの招致に発展、残念乍ら札幌に決定致しましたがその波及効果は大きく、地元民にスキーに関わる仕事が将来への希望であることを教えてくれました。当時の沓野の人々は、長男は家に残って家業(殆どが農業)を継ぎ、次男三男は都会に出たり、出稼ぎをしたりが一般的でした。そして、昭和10年鉄道省より国際スキー場の指定を受けました。又、国際スキー場の指定に依り、外国人が泊まれる宿舎をということで、県が国際観光ホテル(志賀高原ホテル)を丸池に建設致しました。年毎にスキーヤーが増えたこの頃が第一期スキーブームの時期であり、皇族を含め国際的なスキー人等多くの方が来山されました。

昭和18年頃より志賀高原は、戦時体制の下、スキー場観光地から資材供給や食料増産の場として利用されるようになり、薪炭材の伐採や開墾が始まりました。

昭和19年には地元の洪温泉、湯田中温泉で東京からの学童疎開が始まり約4500名の子供達を受け入れました。

昭和20年、第2次世界大戦が終わり、21年には志賀高原ホテルと丸池スキー場が進駐軍に依って接收され、11月には進駐軍よりスキーリフトの架設の命令が下りました。そして、翌22年1月、札幌の藻岩山と共に日本最初のスキーリフトが丸池スキー場に完成致しました。

昭和27年、進駐軍による接收が解除されました。丸池スキーリフトは長野電鉄に払い下げられ、リフトの架け替えが行われ、一般スキーヤーに利用されることとなりました。

スキー場にリフトが架けられたことにより今までのスキーを一変する大変革が起こりました。それは、従来の山々を巡るツアースキー(山スキー)から、一つのスキー場の中で同じコースを何度も滑るゲレンデスキーに変わったことです。ゲレンデスキーの普及は、宿を経由地しての利用から滞在の宿としてその利用方法も変わりました。又、ツアーコースの彼方此方にあった茶屋や休憩所は殆ど姿を消し、スキー場の傍に食堂が開業されるようになり、スキー場の宿、食堂は飛躍的に利用客が増えました。

丸池スキー場の盛況ぶりを見て、地元民の中には自らリフトを架設してスキー場開発を志す者が出てきました。

昭和30年、地元民によるスキー場開発が一気に高まり法坂スキー場を最初に多くのスキー場が開発され、共に旅館の数、寮・保養所の数が増え、志賀高原での第2期目のスキーブームの到来となりました。

スキーブームの到来とはいえ、リフトの搬送力から比べるとまだまだスキーヤーの数は少なく、スキー客をいかにして増やすかが各スキー場の課題となりました。

温故知新、志賀の人々は、過去に国際スキー場指定を巡っての先輩達の行動にヒントを得、志賀はゲレンデスキー場としては最高の場所であるということを知って貰うべく、知名度アップの方策として、国内トップクラスのスキー大会を誘致致しました。その結果、昭和37年には2度目のオリンピック招致に立候補となりました。この時は、前回の候補地札幌が戦争で開催辞退をしたため、再度札幌に決まりました。そして、その後、コンチネンタルカップ、ワールドカップの開催を経、昭和63年には3度目のオリンピック招致となり、国内4候補地の中から長野市が選ばれ、平成3年のバーミンガムでのIOC総会で平成10年第18回長野オリンピックが決定し、志賀高原ではアルペンの大回転、回転、スノーボードの大回転、ハーフパイプが開催されました。

ここで志賀高原でのスキー大会の歴史とコンチネンタルカップ、ワールドカップ、オリンピックで使用されたスキー場を紹介致します。

志賀高原での全日本級のスキー大会の歴史

全日本選手権-----昭和32年を最初に33年、34年、44年、63年、64年、平成3年、7年、8年、12年、16年、18年

国体-----昭和35年第15回大会。インターハイ-----昭和40年第14回大会。

コンチネンタルカップ-----昭和58年より毎年開催される。

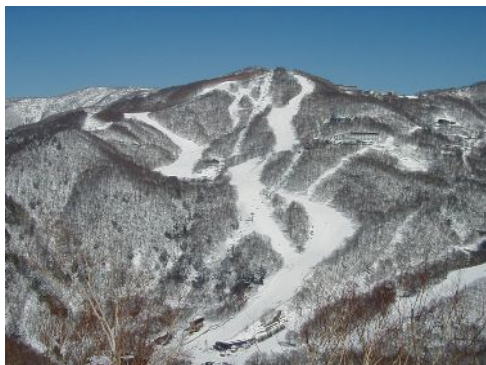
(ワールドカップの一つ下のランクの大会でファイーストジャパンシリーズと言う)

ワールドカップ-----平成元年、9年(ボードとスキー)、12年(ボード)、13年、15年、18年

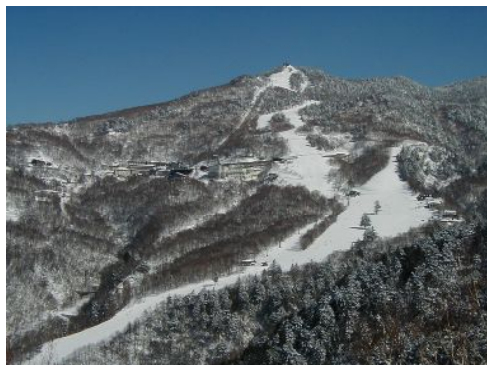
オリンピック、パラリンピック-----平成10年第18回冬季オリンピック長野大会。

スペシャルオリンピック-----平成17年、

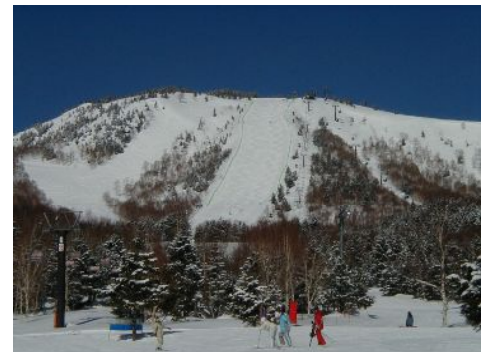
競技に使われたコース



西館山大回転コース



東館山大回転コース



焼額山スラロームコース



ジャイアントスラロームコース